



カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																								
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	*【予定】南信州いいむす21を取得する			3.9			6	7						12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	*【予定】HPや広報活動資料に環境活動への取組みを公開する													12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	建物照明を蛍光灯から高効率LEDへと入替えを実施している。 *【予定】EVの電気スタンドの設置と社用車のEV化を実施する							7.2							13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した消耗品、並びに事務用品の利用を推進している。													12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄防止の為の教育を社員に行っている。																		16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正競争行為防止の為の教育を社員に行っている。																			16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	顧客、または受注案件ごとに秘密保持契約を結び、知的財産の保護に努めている。									8.2	9										
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	従業員の個人情報を社内ルールに則り、適切に管理している。また、ITリテラシーを高める啓蒙活動を行うことで、意図しない個人情報の流出を防止している。																				16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																				16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	一部取引先と自社における取組みの確認活動を行っている。					5				8		10			12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全チェックシートを作成し、製品出荷前に安全確認を実施している。さらに、安全確保の為の取扱説明書を作成し、顧客へ提供している。			3.9											12.4						
29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	品質保証期間を設け、顧客からのクレーム対応や細かな要望に応える仕組みを構築している。また、全部門の責任者による会議を実施し、想定されるリスク洗い出しや改善策を提案する機会を設けている。																				9	
30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	RoHS指令に準拠し、環境に配慮した原材料の調達を行っている。						6								12	13	14	15				
31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	省力化自動設備(FA設備)を開発・販売することで、工場の人手不足に貢献している。 *【予定】工場設備をIoT化することにより、更なる労働環境の改善を目指す。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
32	社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	近隣住民に対する、大型トラックの往來の周知や騒音対策を講じている。また、地元高校の職場見学を受け入れ、地域が求める企業像の把握に努めている。					4								9		11	12			14	15			17		
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	近隣保育園の防災・防犯活動に参画している。また、地域のゴミ収集所を整備し、地域衛生に貢献している。					4											11					14	15		17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地産地消、地産外商）している	チャレンジ	地域内のサプライヤーを積極的に利用している。また、自社製品を地域内顧客へ販売し、地産地消に務めている。															8	9		11	12	13					
35	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	経営理念や経営目標を全社員に説明する場を設け、共有している。														8	9									17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	朝礼や経営会議の場でコンプライアンスの重要性を共有している。 *【予定】コンプライアンス研修を実施する。																								16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	取締役が責任者として対応している。																								16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	多様なステークホルダーへの影響を意識し、必要に応じて対話する機会を設けている。																								16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	全部門の責任者による会議を実施し、リスクの洗い出しや評価・改善を行う仕組みを構築している。																								16	
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	自社のCSR方針を従業員に周知し、社会的責任を全うする企業活動を行っている。																								16	
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	*【予定】訓練計画を作り、実施する。																	9		11		13 13.1			16	
42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	事業承継計画を策定し、実施している。															8	9									17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

**【記載留意事項】**

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）